

## 令和元年度水産振興大会

### 「水産功労者・水産業優良経営者の

### 功績たたえる」

令和元年10月17日（木）に宮崎県水産会館5階大研修室において、県内の漁業関係者等約130名が出席し、令和元年度宮崎県水産振興大会が開催された。

この大会は、本県水産業の発展に功労のあった者及び優良な水産業経営者を表彰することにより、被表彰者の功績を称えるとともに、生産意欲の向上、経営の合理化を促進し、本県水産業の振興に資することを目的に、毎年開催されている。

本年度は3名の水産功労者と、29名の水産業優良経営者が表彰を受けた。

また、大会終了後、4階研修室において、宮崎海洋高等学校の生徒が考案したレシピによる弁当を食しながら、河野知事と受賞者ならびに関係者によるランチミーティングが開催された。



水産功労者・優良漁業経営者



河野知事とのランチミーティング

## 令和元年度 水産功労者



河野 賢二 氏

### 功績概要

昭和 26 年 3 月よりかつお一本釣り漁船に乗船し漁業に従事、昭和 42 年 2 月からかつお一本釣り漁船の経営を開始、現在（有）福德水産として経営を行っております。

また、昭和 56 年 2 月より 3 年間外浦漁協理事を勤め、その後平成 11 年 1 月に外浦漁協理事就任、平成 26 年 2 月からは、外浦漁協代表理事に就任、在職中であります。

上記のとおり、長年に亘りかつお一本釣り漁船に従事・経営し、また、外浦漁協の理事として漁業経営に多大に寄与しております。



江藤 久義 氏

### 功績概要

昭和 39 年にかつお一本釣り漁船第六丸に甲板員として乗船されて以来、平成 24 年まで 48 年間の長きにわたり漁業に従事し、また、昭和 46 年からは独立経営され、経営者としても手腕を発揮されました。現在は南郷漁協組合長として、厳しい漁業環境の中、常に組織の強化・育成に積極的に取り組まれております。



小出 義春 氏

### 功績概要

昭和 41 年に組合員となり、家業であるかつお一本釣り・まぐろ延縄漁業に従事するとともに富島漁協青壮年部に加入、昭和 60 年以降にはリーダーとして他の部員と共に漁具・漁法の改良、漁場の開拓等まぐろ延縄漁業の普及推進に努め、県内外のまぐろ延縄漁業の振興にも大きく貢献しました。平成 27 年からは、日向市漁協の理事として漁協経営に日夜尽力され漁協経営等に貢献されています。

## 令和元年度 水産業優良経営者一覧

部門		所属漁協又は 推薦団体	船名	会社名又は氏名
かつお一本釣漁業	120トﾝ以上	南郷漁協	八十一号由丸	有限会社 由丸水産
		南郷漁協	第七十三真海丸	有限会社 中野水産
	120トﾝ未満 100トﾝ以上	南郷漁協	第五清龍丸	有限会社 浅野水産
		南郷漁協	十八号清龍丸	清龍水産 有限会社
100トﾝ未満 20トﾝ以上	該当者なし			
20トﾝ未満	日南市漁協	第二十八進漁丸	株式会社 上村水産	
まぐろはえ縄漁業	20トﾝ以上	該当者なし		
	20トﾝ未満	日向市漁協	日の出丸	有限会社 日の出丸
		川南町漁協	第十五寶進丸	有限会社 宝進丸
		日向市漁協	栄幸丸	有限会社 栄幸丸
	15トﾝ以上	日南市漁協	第十一寿丸	有限会社 東元壽水産
		川南町漁協	龍喜丸	有限会社 龍喜水産
		川南町漁協	第一海伸丸	有限会社 海伸丸
	15トﾝ未満 10トﾝ以上	川南町漁協	生洋丸	有限会社 生洋丸
日向市漁協		第八国丸	株式会社 国丸水産	
10トﾝ未満	日向市漁協	幸豊丸	是澤 悟	
	川南町漁協	敦弘丸	疋田 恵太	
まき網漁業	15トﾝ以上	北浦漁協	第六十八浩栄丸	有限会社 浩栄水産
		北浦漁協	第十二海幸丸	有限会社 協栄水産
	15トﾝ未満	該当者なし		
機船船曳網漁業	—	門川漁協	第二・第三新漁丸	河野 洋一
		門川漁協	第二十・第二十一新生丸	小林 賢一
その他漁船漁業	20トﾝ未満 10トﾝ以上	南郷漁協	第八富美丸	山田 正廣
		南郷漁協	第五福善丸	山田 善身
	10トﾝ未満 5トﾝ以上	川南町漁協	漁栄丸	疋田 竹春
		川南町漁協	第二大成丸	山田 幸夫
5トﾝ未満	日向市漁協	第八萬好丸	朝倉 昭義	
	日向市漁協	第八萬好丸	朝倉 昭義	
定置漁業	大型	南郷漁協	第六十三新堀丸	有限会社 新堀水産
	小型	日向市漁協	第二とべしま丸	有限会社 とべしま丸水産
海面養殖	—	串間市漁協	黒瀬水産 株式会社	
		島浦町漁協	有限会社 結城水産	
内水面養殖	—	内水面振興センター	有限会社 青木養鰻場	
水産加工業	—	該当者なし		